

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年9月分：速報)

<対世界>

- 輸出総額：7,437 億円(伸率：+10.2%) ⇒ 7か月連続のプラス
 - ・順位：26位、9月としては3位
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(513か月、9月は43か月)による。以下同じ。)
 - ・増加品目：鉄鋼(同+95.6%)、船舶(同+89.8%)
- 輸入総額：6,449 億円(伸率：+52.9%) ⇒ 6か月連続のプラス
 - ・順位：61位、9月としては5位
 - ・増加品目：原粗油(同2.0倍)、石炭(同2.3倍)
- 差引額：988 億円(伸率：▲61.0%) ⇒ 81か月連続の輸出超過
 - ・順位：73位、9月としては11位
 - 為替レート：2021年9月：109.87円/ドル(2020年9月：105.96円/ドルと比べ3.7%の円安)

<品目別動向>

○輸出

鉄鋼(367億円→718億円、伸率：+95.6%)は、韓国(28億円→117億円、同4.2倍)及びタイ(37億円→121億円、同3.3倍)向けが増加し、11か月連続のプラスとなった。また、船舶(237億円→451億円、同+89.8%)は、パナマ(40億円→133億円、同3.3倍)及びリベリア(171億円→225億円、同+31.8%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、自動車(1,738億円→838億円、同▲51.8%)は、中国(685億円→187億円、同▲72.7%)及びアメリカ(447億円→237億円、同▲46.9%)向けが減少し、8か月ぶりのマイナスとなった。

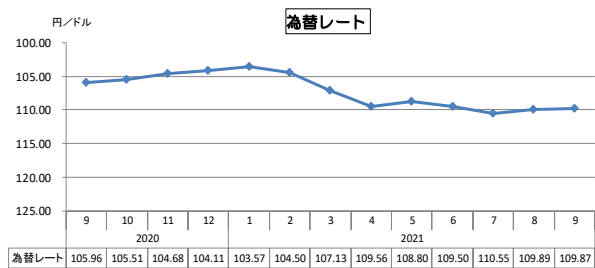
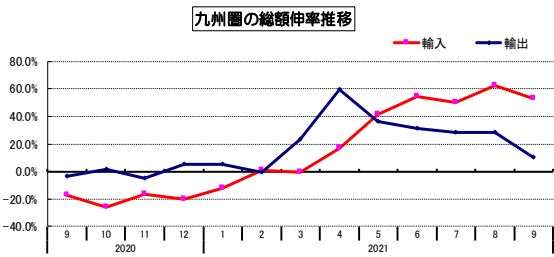
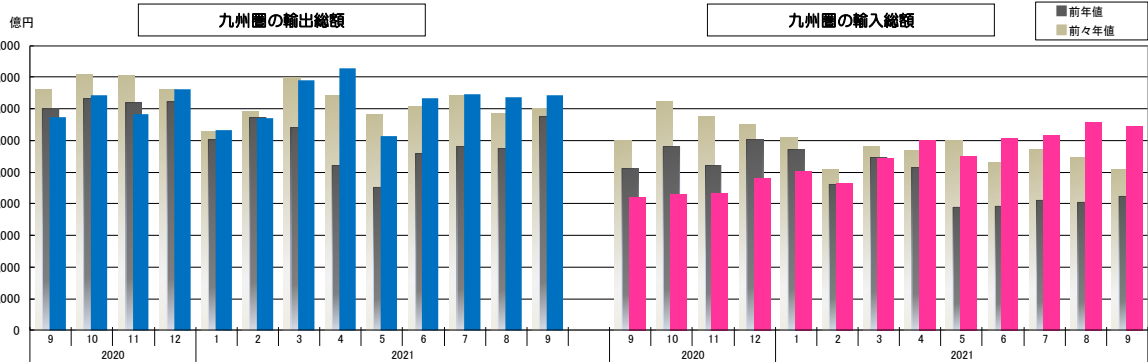
○輸入

原粗油(185万KL→223万KL、伸率：+20.9%、566億円→1,137億円、同2.0倍)は、数量、価額ともに増加し、5か月連続のプラスとなった。また、石炭(337万MT→371万MT、同+10.0%、284億円→666億円、同2.3倍)は、数量、価額ともに増加し、4か月連続のプラスとなった。

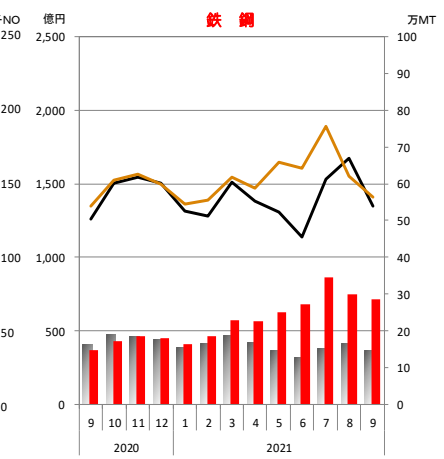
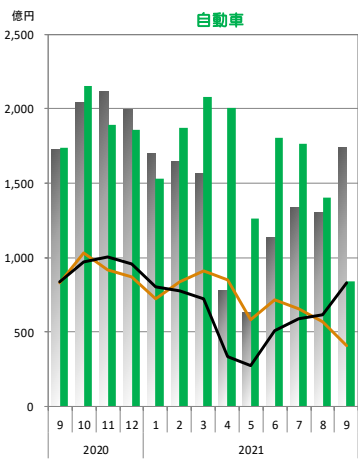
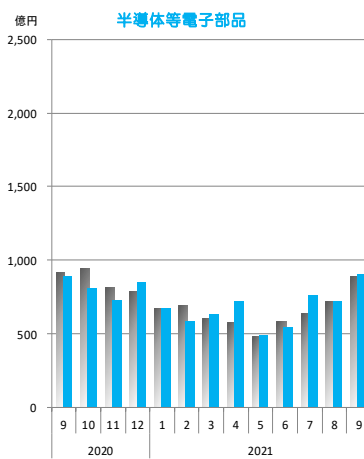
一方、織物用糸及び繊維製品(65億円→52億円、同▲19.4%)は、中国(47億円→37億円、同▲21.0%)及び韓国(8億円→3億円、同▲67.0%)からが減少し、3か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

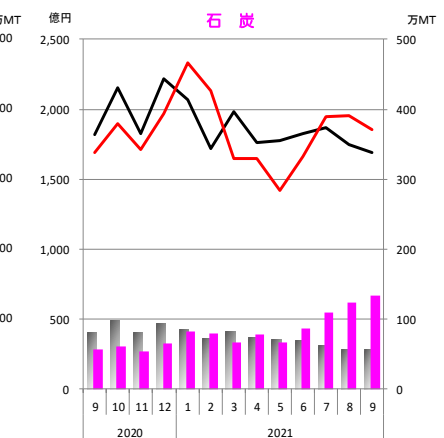
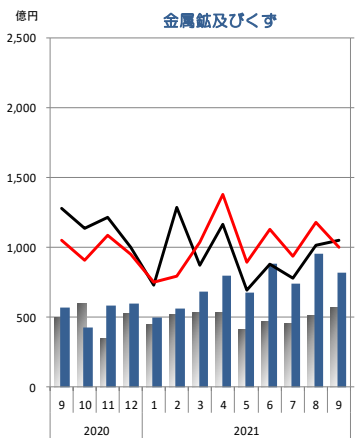
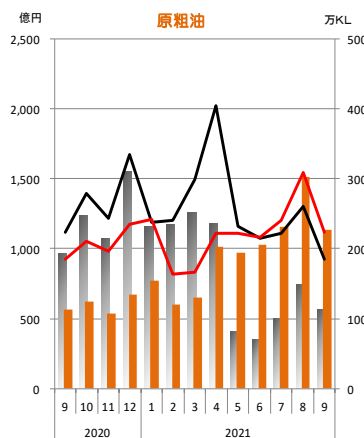
令和3年9月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。